

イノシシによる被害と その対策について

濱谷修一

広島市では、市内全域で鳥獣（特にイノシシ・シカ）による被害が増大しており、中でも安佐北区、安芸区、佐伯区の中山間部での被害が著しいとされている（広島市，2014）。

佐伯区にある本園でも以前からイノシシによる被害が発生していたが、平成27、28年度は特に多かったように感じられた。平成28年度（今年度）については、被害の発生と対応についての記録を取ったので、ここに記する。

<平成28年度の被害確認日と被害箇所>

アルファベット記号は図参照

7月12日（火） D, J, M

7月15日（金） A, B, E

7月24日（日） L, M

7月27日（水） G, H, J

7月28日（木） A, B, D, M

この頃、境界柵の応急補強

8月28日（日） L, M

8月29日（月） G

8月31日（水） D, M

9月6日（火） I

9月12日（月） B, M

9月20日（火） D, I, L, M

9月22日（木） H, J

ハナショウブ園（H, J）を柵で囲んだ

10月9日（日） D, L

10月17日（月） C, F, J（柵の周囲）

10月18日（火） F, I

10月19日（水） C

レストラン前迷路（C）を電気柵で囲んだ

10月20日（木） B, D, E, F, L, M, O

10月21日（金） 箱わなを設置

10月24日（月） D, G, M

10月29日（土） B, C, G, L, O

10月31日（月） A, B

11月5日（土） K, L, M

11月8日（火） 境界部に柵設置（委託）

11月13日（日） B, D, G

湿原（D）を柵で囲んだ

12月12日（月） 境界部に柵設置（直営）

12月20日（火） 箱わな撤去

今年度のイノシシによる被害は7月中旬から確認され始めた。ツバキ園（D）、湿原（G）、ハナショウブ園（H, J）、日本庭園奥（L）、ヤマアジサイ園（M）での被害が特に顕著だった。

本園では以前からイノシシの被害があったため、部分的にイノシシの侵入対策は行ってきた。園と周辺地域の境界は、概ね図の細い破線（及び、太い実線が重なった箇所）で示されているが、設置可能な箇所にはフェンスが設置されている。また、南西部（太い破線を記した箇所）には電気柵が設置されている。しかし、フェンスの足元部分は諸般の事情により隙間ができていたり、地形的な理由でそもそもフェンスが設置されていない箇所もあったために、西側と北側の一部に平成27年度にイノシシ用の柵を設置した。

今年度の7月の被害発生を受けて、境界部を視察したところ、フェンスの足元部の隙間を閉じていなかった箇所や、柵の設置が脆弱だった箇所の何か所かに、動物の侵入跡が見つかったため、応急的な柵の補強を行った。

その成果か季節的な理由かは定かではないが、7月28日を最後に約1か月間はイノシシによる被害は無かったが、8月28日から9月下旬にかけて断続的に被害が再発した。ハナショウブ園については、株が掘り起こされると品種が混同するといった問題もあるので、開花時期でもないことから、イノシシ用の柵を設置した。

9月末から約3週間は顕著な被害が無かったが、10月17日から大きな被害が再開した。特に今回はレストラン前迷路（C）やツツジ・シャクナゲ園（F）、花の進化園上（I）、苗圃（O）といったこれまでにほとんど被害を受けなかった箇所にまで被害が広がった。この中でも、レストラン前迷路はコスモスを植栽しており、11月3日の開園記念日頃に見頃となるように管理していたので、被害の拡大を防ぐために電気柵を設置した（日中は迷路の出入口を開放し、迷路を楽しんでいただけるようにした）。なお、電気柵のヨリ線の高さが若干高かったようで、設置後も小サイズのイノシシが迷路内に侵入した（幸いにして、被害は軽微だった）。10月21日に、佐伯区役所農林課に箱わなを設置していただい

た。

その後も何度か被害が発生したが、11月8日の境界部（西側を重点的に）柵設置（補強）完了、11月13日に湿地（G）を柵で囲んだ頃を最後に被害が発生しなくなった。香りの小径（B）あたりの被害については、図のBの右上にある印のあたりのフェンス下の隙間が侵入箇所となっているようだったので、12月12日頃にそのあたりを重点的に柵の補強を行った。12月20日に箱わなを撤去した。

11月中旬以降、イノシシによる被害が止まった理由は、本稿執筆時点では明らかではない。柵設置の効果が表れているのかもしれないし、猟期に入ったのでイノシシが一時的に遠ざかっているという意見もある。南側の境界部分は石

垣になっている箇所が多いがイノシシが侵入できないわけではなく、東側は現時点ではほぼ無防備の状況である。わなの設置は有効な駆除方法の一つではあるが、危険を伴う方法でもあり、来園者を迎える植物公園としては推奨されるものではない。今後も、被害の発生に対応しながら、柵の補強などの侵入防止策を進めていく必要がある。

引用文献

広島市. 2014. 広島市鳥獣被害防止計画.

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1237355272470/files/higaibousikaikeku3.pdf>



図. イノシシの被害と対応箇所